

豊橋市立大清水小学校

& 穂の国の森からつながる地域づくりの会

5年生の社会科、環境に関する学習でお招きしました。

前半は、森林の役割と現状について教えていただきました。CO₂削減だけでなく、森林の木々の強い根が緑のダムとして私たちの生活を守り続けてきたことを知り、児童は今まで知らなかった身近な生活とのつながりに関心を高めた様子でした。ただ、現在は木材の需要が減ったことや輸入材が増加したことで山の手入れが行き届かず、山全体が高齢化し危機を迎えていることも知りました。参加した児童からは、「木を積極的に使うことが森を元気にするなんて、思っていたことと反対でおもしろかった。」「地元の山の木を使うことが地域の自然災害を減らし、自分たちの生活を守ってくれていて、山の役割や林業の大切さがよくわかりました。」といった感想が聞かれました。

木工教室は時間の関係で今回は簡単なものをお願いしましたが、プランターづくりや掲示板づくりも無料でしていただけのを知りました。本校も活動内容をさらに工夫しながら、来年度以降も継続的にお願いしていきたいと考えています。

